

整理番号 03921

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等） **Cooling Fluid** 冷却液

販売者情報

会社 **LECO ジャパン合同会社**

住所 〒105-0014

東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号

住友不動産芝ビル 4 号館

担当 **SDS 担当者**電話番号 **(03) 6891-5800** FAX 番号 **(03) 6891-5801**

製造者情報

会社 **LECO Corporation**住所 **3000 Lakeview****St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.**

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性 : 急性毒性 吸引 区分 4

誤えん有害性 区分 1

ラベル要素

絵表示 :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 吸引すると有害 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

注意書き :

【安全対策】

蒸気の吸引を避けること。屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

【応急措置】

飲み込んだ場合ただちに医師に連絡すること。吸引した場合空気の新鮮な場

所に移動し呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い場合は医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を地域・国・国際規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名	水素化デカ-1-エンダイマー (1-Decen,dimer,hydrogenated) 別名 Polyalphaolefin (PAO)
成分及び含有量(wt%)	100
化学式又は構造式	不特定
官報公示整理番号 化審法	6-1109
安衛法	対象外
PRTR 法	対象外
CAS No.	68649-11-6
国連分類及び国連番号	対象外

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動し呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い場合は医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
皮膚に付着した場合	水、石鹼で洗い流す。刺激がひどくなり、続くようなら医療機関に連絡する。
目に入った場合	すぐに多量の水で洗い流す。コンタクトレンズをしていて容易に外せる場合は外す。刺激がひどくなり、続くようなら医療機関に連絡する。
飲み込んだ場合	すぐに医療機関に連絡する。無理に吐かせてはならない。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	誤飲は肺水腫や肺炎を引き起こすおそれがある。

5. 火災時の措置

消火剤	周辺火災に応じた消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤	水噴霧をしない。これは火災を広げるおそれがある。
火災時の特有の危険有害性	火災時は健康に有害なガスが発生するおそれがある。

消火を行う者の保護 自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 関係者以外を退避させる。清掃時は適切な保護具を着用する。蒸気/スプレー/ミストの吸引を避ける。十分に換気する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 バーミキュライト・乾燥砂または土に吸収させ容器に入れる。残留汚染の除去の為表面を清掃します。

環境に対する注意事項 排水溝・水路・地面等、環境への放出を防ぐ。

7.取扱い及び保管上の注意

安全取扱い注意事項 蒸気/スプレー/ミストを吸引しない。適切な保護具を着用する。使用後は手を洗う。産業衛生に気を配る。

安全な保管条件 容器の蓋をしっかりと閉め、乾燥し換気の良い場所に保管する。

8.暴露防止措置

許容濃度(暴露限界値) 暴露限界値は設定されていない。

生物学的限界値 生物学的暴露限界値は設定されていない。

設備対策 十分な換気を行う。

保護具

眼/顔の保護 サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。

皮膚の保護

手 適切な耐薬品手袋を着用する。

その他 適切な保護衣を着用する。

呼吸器の保護 十分な換気を確保できない場合、適切な呼吸器を着用する。

熱的危険 必要に応じて適切な耐熱保護衣を着用する。

一般的な衛生事項 常に製品取扱後、飲食喫煙の前の手洗いなど衛生に気を配る。仕事着、保護具類は汚染を除去するため定期的に洗濯、清掃する。汚染された衣類は職場の外に持ち出されてはならない。

9.物理/化学的性質

物理状態

形状 液体

色 無色

臭い なし

融点・凝固点	-73 °C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	223 °C
可燃性	入手不可
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	入手不可
引火点	160 °C (Cleveland Open cup)
自然発火点	入手不可
分解温度	入手不可
pH	入手不可
動粘性率	入手不可
溶解度	不溶
n オクタノール/水分配係数	入手不可
蒸気圧	1 mmHg @75 °C
密度及び／又は相対密度	0.8
相対ガス密度	入手不可
粒子特性	入手不可

10.危険性情報

反応性	入手不可
化学的安定度	通常の状態安定。
危険有害反応可能性	通常の使用下で有害な反応は知られていない。
避けるべき条件	混触危険物質との接触を防ぐ。
混触危険物質	強酸化剤、硝酸塩、過酸化物
有害な分解生成物	知られていない。

11.有害性情報

起こりうる暴露についての情報	
吸入	吸引すると有害
皮膚	皮膚接触による悪影響は予期されない。
眼	直接の目への接触は一時的な刺激を起こすおそれがある。
飲み込んだ場合	摂取や嘔吐により肺に製品が吸引された場合化学肺炎を引き起こすおそれがある。
物理的、化学的、有害性特性に関連した症状	誤飲は肺水腫や肺炎を引き起こすおそれがある。
毒物学的影響	
急性毒性	

成分	種	試験結果
1-Decen,dimer,hydrogenated (CAS 68649-11-6)		
急性 経皮 LD50	ウサギ	> 3 g/kg
吸引 ミスト LC50	ラット	1.17 mg/l, 4 h
経口 LD50	ラット	> 3 ml/kg

* 製品の推定値は表記されていないデータに基づいている場合があります。

皮膚の腐食性/刺激性	入手不可
重篤な眼の損傷性/眼刺激性	入手不可
呼吸器または皮膚感作性	
呼吸器感作性	入手不可
皮膚感作性	入手不可
生殖細胞変異原性	0.1 %を超える成分が変異原性または遺伝毒性であることを示すデータはない。
発がん性	本製品は IARC, ACGIH, NTP, OSHA に基づく発がん性物質として考えられていない。
生殖毒性	この製品は生殖または発育へ影響を及ぼすとは予想されない
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	入手不可
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	入手不可
誤えん有害性	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

12.環境影響情報

生態毒性

製品	種	結果
1-Decen,dimer,hydrogenated 水生 Crustacea NOEC	(CAS 68649-11-6) Daphnia magna	>125 mg/l 21 d
* 製品の推定値は表記されていないデータに基づいている場合があります。		
残留性/分解性	データなし	
生態蓄積性	データなし	
土壌中の移動性	データなし	
その他の有害影響	この製品による環境への悪影響 (例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性) は考えられていない。	

13.廃棄上の注意

廃棄手順	内容物/容器の廃棄は地域/国/国際的規制に従い行う。
危険廃棄物コード	使用者、生産者及び廃棄物業者間で協議し、廃棄物コードを割り当てること。
残余廃棄物/未使用製品	空の容器は残留物があるおそれがある。本製品と容器は安全な方法で廃棄しなければならない。
汚染容器	空容器はリサイクルまたは廃棄のために承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない

14.輸送上の注意

本製品は DOT,IATA,IMDG において危険品として規制されていない。

15.適用法令

消防法 引火性液体 第 3 石油類 危険等級Ⅲ

16.その他の情報

参考文献 本製品の英文 SDS(041315) : LECO Corporation
JIS Z7252 (2019) GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z7253 (2019) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、
作業場内の表示および安全データシート
化学便覧 : 丸善
職場のあんぜんサイト : 厚生労働省
NITE 化学物質総合情報提供システム : 独) 製品評価技術基盤機構

作成：平成 24 年 1 月 23 日

改訂：平成 24 年 6 月 15 日 (法令見直し)

令和元年 10 月 28 日 (書式変更)

令和 4 年 3 月 16 日 (法令見直し、2019 年版 JIS 対応)

* 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。